

留意事項

問題1

問1の留意事項

① エンジンの着火順序：1－____－4－____

② バルブ・クリアランスの基準値

： I N 0. _____ mm (冷間時) とする。

： E X 0. _____ mm (冷間時) とする。

③ 測定結果の記入要領

例：バルブ・クリアランスの測定で、シックネス・ゲージの厚さにおいて、0.55mmが入り0.60mmが入らない場合には、測定結果欄の数値は0.55と記入すること。

※上死点マークは、クランク・プーリ側とエンジン側に白ペンで表示してあります。

※1シリンダ当たり、I NとE Xの2箇所ではバルブ・クリアランスを測定するが、3箇所以上測定箇所があるエンジンでは、白ペン等で2箇所表示してある部分のみ測定すること。

留意事項

問題2

問1の留意事項

① ブラシの長さ基準値(新品時) : _____ mm

限度値 : 5.0 mm

② ブラシの番号 (①, ②) は, 白ペンで表示してあります。

問2の留意事項

① ロータ・コイル

絶縁抵抗値の基準値 : 500V メガーで1M Ω 以上

② ステータ・コイル

絶縁抵抗値の基準値 : 500V メガーで1M Ω 以上

※導通点検はサーキット・テスタの抵抗レンジを選択して行うこと。

※絶縁点検はメガーを用いて行うこと。

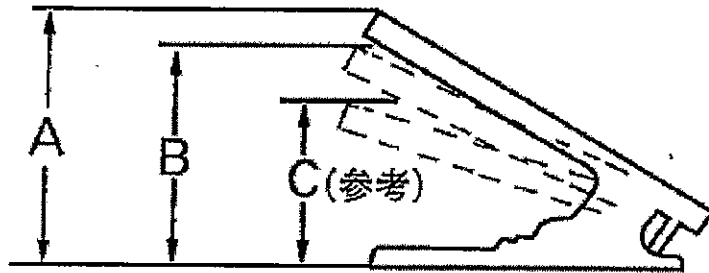
※点検又は測定を行う場合に補助を必要とするときは, 採点委員又は復元員に申し出ること。

留意事項

問題3

問1の留意事項

① 測定箇所



A : デュアル型ブレーキ・バルブ(ブレーキ・ペダル付き)をトールボードに取り付けた状態の寸法

B : ペダルの遊びだけ踏み込んだときの寸法

C : ペダルの全ストロークを踏み込んだときの寸法 (参考)

② A～Cの寸法の基準値

A寸法 : _____ mmとする。

B寸法 : _____ mmとする。

C寸法 : _____ mm (参考値)

③ A, Bの各寸法以外は, 既に点検済みで不具合はないものとして行うこと。